

令和2年9月27日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦フレンズ 対 ソルトベイスターズ

両チームを通してこの試合唯一の得点を先頭打者HRで叩き出した三苦フレンズ生野拓磨選手。

写真：新町ウインズ 大久保 浩

奈多グラウンド（準決勝） フレンズ山口投手、息詰まる両エースの投げ合いを制す

三苦フレンズ 1 0 0 0 0 0 0 1 山口○ー佐藤(由)

奈多フェニックス 0 0 0 0 0 0 0 0 今林(勇)●ー吉田

HR：生野(拓) (三苦フ)

試合開始前は小雨が降り続く微妙な天気であったが、朝7時前には雨もあがり安堵した中でプレイボール。初回、先攻の三苦フレンズ一番・生野(拓)選手が奈多フェニックス先発の今林(勇)投手を攻め、左中間への先頭打者本塁打で貴重な先制点！さらにチャンスを作ったが1点で攻撃終了。一方、後攻のフェニックス打線は三者凡退に打ち取られた。二回三回とフレンズはチャンスを作るものの得点出来ず。フェニックスは二回三回と6者連続三振に取られるなどチャンスを作れない。このまま膠着状態が続き六回裏フェニックスは先頭の七番高原選手が中前へチーム初安打を放ちフレンズ山口投手の完全試合を阻止したがこの回も無得点。最終七回裏先頭の二番今林(勇)選手が中前、続く三番能丸選手がバントヒットでチャンス拡大したが一死後に走塁死などがあり得点出来ずに試合終了した。勝ったフレンズは生野(拓)選手が取った1点を固い守備と山口投手の圧巻の投球で勝ち切った。敗れたフェニックスは最後に意地を見せてくれたが1点が遠かった。両エースの投げ合いに両チームの固い守備で締まった試合で見応えのある良い試合だった。(記事:新町ウインズ 野中 一史、写真:大久保 浩)



三苦フレンズの先発山口投手。



奈多フェニックス先発の今林勇太投手。



先頭打者ホームランの生野（拓）選手。



豪快なフルスイング！！吉田選手。



見事なセンター返し今林勇太選手。



本日のヒーロー。打の生野（拓）選手、投の山口投手。

**青松園A（準決勝） 接戦を制したのは、地力に勝るホーネッツ。**

三苦ホーネッツ 0 1 2 0 0 0 3 矢野○ー広木

ソルトベイスターズ 1 0 0 0 0 0 1 酒井●ー坂本

HR：西村（三苦ホ） 2BH：井手、広木（三苦ホ） 盗塁：稲葉、今田（三苦ホ）

決勝トーナメントの準決勝。決勝戦に進むのは果たしてどちらのチームか？三苦ホーネッツ矢野、ソルトベ이스ターズ酒井の両投手の先発で試合は始まった。先制したのはソルト。初回、先頭打者の坂本選手が、初球を一塁線に見事なセーフティーバントで出塁。続く吉田選手も1球で送りバント成功、続く野口選手も1球で進塁打と、3球で二死三塁のチャンスを作る。ここで四番の大門選手が、フルカウントからの6球目をライト前にタイムリーを放ち、1点を先制する。ホーネッツもすぐさま反撃。二回表、四番広木選手がヒットで出塁する。その後二死となるが、突如ソルト酒井投手の制球が乱れ、三者連続死球の押し出しで同点に追いつく。三回表、二死から広木選手がライト線二塁打を放ち、勝ち越しのチャンスを得る。ここで西村選手がレフトオーバーの本塁打を放ち2点を勝ち越し。その裏、ソルトも四球や相手エラーなどで二死二三塁のビッグチャンス。ここで打席に向かうのは初回に先制タイムリーを放った大門選手。初回と同じくフルカウントからの6球目をフルスイング・・・するも空振り三振で点を奪えない。その後、両チームともにチャンスはあったものの点には結びつかず・・・このまま試合終了。ホーネッツが接戦を制し、決勝戦へと駒を進めた。ホーネッツはあと1本がなかなか出なかったが、矢野投手の好投に助けられた。ソルトも2つの併殺打がもったいない形となってしまった。

(記事：三友クラブ 山本 健一、写真：八尋 豊)



三苦ホーネッツ試合前集合写真。



ソルトベ이스ターズ試合前集合写真。



ソルトベ이스ターズ先発 酒井投手。



ホーネッツ先発 矢野投手。



一回裏、先制タイムリーのソルト大門選手！！



二回表、ホーネッツも連続死球で同点！



勝ち越し2ランHRのホーネッツ西村選手。



代打、ブルーマーリンズから参戦中の末松選手。



ホーネッツ勝利の殊勲者、矢野投手（左）と西村選手（右）。

## 雁レク8 パイレーツ吉田投手、怒濤の14奪三振数！

雁の巣ライナーズ 100002 3 中村●ー明瀬

和白新町パイレーツ 12051X 9 吉田○ー池野

HR：今泉（新町パ） 2BH：久保田美（雁の巣） 盗塁：明瀬（ライナーズ）、八坂（パイレーツ）

涼しさを感じる9月最後の日曜日は、雁の巣ライナーズ先頭の今林選手の中前安打から始まった。するとパスボール、失策、ワイルドピッチと続き、ライナーズはあっという間に先制点を奪ってしまう。しかしこの先制点で目が覚めたのか、パイレーツ先発の吉田投手は、後続を三者連続三振で切って取り、鮮やかにこのピンチを切り抜けた。一方のパイレーツも、立ち上り制球の定まらないライナーズ先発中村投手から4四死球ですぐに1点を返し、初回は五分の展開。しかし続く二回に試合が動く。二番の今泉選手が右中間への2点本塁打を放ったパイレーツは勝ち越しに成功する。ライナーズも反撃に転じたいところだが、吉田投手から五回までに8連続を含む12三振を奪われ、打線が沈黙してしまう。すると四回、この回先頭の田中選手の四球を足掛かりに、打者10人で5点の猛攻を見せたパイレーツが完全に試合の主導権を握ってしまった。何とか反撃の糸口を掴みたいライナーズは、最終六回、今林選手が二塁内野安打で出塁すると捕逸で二進、更に明瀬選手の中前安打で遂に1点を返す事に成功する。更に続く久保田美選手の二塁打でこの回2点目を返した。しかし反撃もここまで。この回終了時点で1時間15分が到来し、試合終了となった。終わってみると、全18個のアウトの内、14個を三振で奪った吉田投手の快投が印象深い試合となった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：小金丸 賢二）



和白新町パイレーツ吉田投手。



雁の巣ライナーズ中村投手。



2四球2得点の活躍！背番号77田中選手。



ジャンプでヒットをもぎとるライナーズ中村投手。



相次いでホームインする小林選手、今泉選手。



タイムリー安打の吉田選手。



三連打①今林選手。



三連打②明瀬選手。



三連打③久保田（美）選手。

### 青松園B 光る、奈多クラブの豪打。

奈多クラブ 5 3 1 1 0 1 0 大石○-安河内

三苦三球会 0 0 0 0 0 0 0 堺（達）●-堺（太）

HR：安河内、今林賢（奈多ク） 3BH：高瀬（奈多ク） 2BH：安河内、高瀬（奈多ク） 船橋（三球会）

初回から奈多クラブが猛攻を仕掛ける。一番大石選手がライト前ヒットで出塁すると、二番今林賢人選手、三番上野選手の連続ヒットなど打者一巡の猛攻で一挙5点。その裏三球会は、二番橋口選手が粘りの四球で出塁するも得点にはいたらず。二回表奈多クラブは、六番安河内選手のレフト柵越えの豪快なHRなどで3点を追加。その裏三球会は、先頭がレフト前ヒットで出塁するも奈多クラブ守備陣の1-6-3のゲッツーが炸裂し無得点。奈多クラブは、三回表に今林賢人のHR、四回表は高瀬のタイムリー三塁打などで10-0とする。四回裏三球会は、先頭松尾選手が内野安打で出塁し、WPで三塁まで進塁するが、パスボールの間に本塁への進塁を試みるも挟殺されてしまう。一矢報いたい三球会は五回裏、二死から一番船橋選手がライトへ二塁打を放つも二番永吉選手の空振り三振でゲームセット。三球会は毎回ランナーを出塁するも、奈多クラブ大石投手のテンポのよいピッチングで得点には至らず。攻守の噛み合った奈多クラブの勝利となった。(記事・写真：奈多サンデーズ 古賀 開)



奈多クラブ先発の大石投手。



三球会先発の堺達也投手。



二回表、柵越えのHRを放つ奈多クラブ安河内選手。



三回表、レフト線へHRを放つ奈多クラブ今林賢人選手。



四回表、10点目の三塁打を放つ奈多クラブ高瀬選手。



今試合唯一のノーヒットに顔をしかめる奈多クラブ安部選手。



一回裏、粘り勝ちで四球をもぎ取る三球会橋口選手。



二回裏、三遊間へヒットを放つ三球会藤沢隆紀選手。



四回裏、唯一の得点チャンスに三本塁間で挟殺された松尾選手。



五回裏、二死から意地の二塁打を放つ三球会船橋選手。



完封を喫し、悔しそうな表情の三球会ナイン。